『笑顔いっぱい　幸せいっぱい　本郷小学校』

令和８年11月２日（月）

本郷小学校だより

第７号

【校長室から】

『できることができるようになる学校づくり』

校長　山本　隆弘

10月５日から、学校の東門前でのあいさつ運動が始まりました。保護者の皆様のご協力、ありがとうございます。６年生から始まり、10月後半からは１年生の順番になっています。今後とも、よろしくお願いいたします。

さて、今年度、本校では「できなかったことができるようになる学校づくり」を学校経営の基本方針に掲げています。その実現に向け、学校全体の組織目標を「一人一人の自己有用感を高める」こととしています。４月の学校だよりでもお伝えした「自己有用感」とは、「自分は誰かの役に立っている」「自分の存在が認められている」と感じる気持ちです。子供たちが自分のよさや強みに気付き、自信をもって行動できるよう支えていきたいと考えています。

今年のノーベル化学賞には、東京理科大学名誉教授の硲合（そあい）憲三さんが選ばれました。長年にわたる研究が世界的に評価されたものです。研究の成果は、すぐに得られるとは限りません。疑問をもち、考え、試し、うまくいかないことがあっても粘り強く取り組むことが、新たな発見につながります。子供たちの学びも同じです。初めからできることだけでなく、昨日は難しかったことに挑戦し、少しずつできるようになる過程を大切にしたいと思います。

10月20日には「いじめ防止集会」を実施しました。集会までの間、５・６年生が他学年の話合い活動に参加し、互いの考えを聞きながら話し合う姿が見られました。また、生活向上委員会の児童は、休み時間を使って進行の練習に取り組みました。当日は、各学級で考えた「いじめ防止のためのスローガン」を代表児童が堂々と発表することができました。準備や話合いを通して、一人一人が役割を果たし仲間と協力する姿に成長を感じました。

学校は、誰もが安心して過ごせる場所でなければなりません。困っている人に声をかける、自分がされて嫌なことは人にしない、困ったときには「助けて」と言える。そうした行動を、子供たちと一緒に育んでいきたいと思います。そして、互いのよさや努力を認め合うことで、「自分も役に立てた」「やってみたらできた」という実感につなげていきます。

子供たちには、自分の興味や関心を大切にし、失敗を恐れずに挑戦してほしいと願っています。小さな一歩であっても、できなかったことができるようになる喜びを積み重ねることが、自信や次の挑戦につながります。学校全体で一人一人の成長を支え、子供たちの笑顔と可能性を広げてまいります。

なお、11月27日（金）は、１～４校時を「授業公開日」としています。子供たちが学び、挑戦する姿を、ぜひご覧にお越しください。



いじめ防止集会に向けた話し合い



図書委員の児童による読み聞かせ



大盛況のけやきっずまつり